

【川越市歴史的風致維持向上計画に基づく主な事業】

旧山崎家別邸保存整備事業

豪商の別邸である建物の修復及び庭園の復原整備を行い、公開する事によって町の奥行きを深める。



旧川越織物市場保存整備事業

物資の集散地ならではの交流拠点となるよう、建物の復原修理を実施する。



旧鶴川座保存整備事業

建物を整備し、催事施設として復活させ、物資の集散地を陰から支えた娯楽の復権を図る。



都市景観重要建築物の修理補助事業

都市景観重要建築物の外観に関わる修理費用に対する補助を行う。

川越氷川祭の山車行事保存会への補助

川越氷川祭の山車行事保存会の活動に対して補助を行う。

歴史的地区環境整備街路事業

無電柱化及び石畳舗装又は美装化により、地区の景観と一体となった歴史的風致の向上を図る。



川越市川越重要伝統的建造物群保存地区に関する事業

- ・保存整備事業
- ・景観基準に基づく修景補助事業
- ・保存活動事業への補助事業
- ・川越市蔵造り資料館整備事業



建築物等の修理や修景行為に関わる費用に対する補助及び保存活動事業に寄与する団体に対して補助する事によって、保存地区の歴史的風致の向上を図る。

建築物件の修景補助事業

伝建地区を除く都市景観形成地域内の建築物・看板に対する新築・改修時の修景行為への補助を行う。

松平大和守家廟所保存整備事業

川越藩最大 17 万石時代の藩主の廟所として、復原修理に対し補助を行う。

永島家保存整備事業

城下に残る武家地唯一の遺構として修理活用を行い地域の拠点とする。

今後は、「川越市歴史的風致維持向上計画」に基づき、歴史的建造物の修景や復原、歴史的風致を維持向上する取り組みへの補助などの事業を展開していきます。

また、これまで運用してきた川越市都市景観条例に併せて、景観法に基づく景観計画を策定し、歴史的風致とも調和した景観の誘導を図っていききたいと考えています。

「歴史的風致」とは

地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境（法第 1 条）と定義されており、ハードとしての建造物と、ソフトとしての人々の活動を合わせた概念です。

「歴史的風致維持向上計画」の計画書は、川越市のホームページから入手できます。「歴まち通信」は、今後折に触れて発行していきます。



川越歴まち通信 第 1 号

発行人：川越市
連絡先：川越市都市計画部都市景観課 049-224-5961（直通）

「川越市歴史的風致維持向上計画」が 国の認定を受けました

歴史的な環境を守り育てる

平成 20 年に「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）」が制定されました。この法律に基づき、川越市が策定した「川越市歴史的風致維持向上計画」が、去る 6 月 8 日に、文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣から認定を受けました。

この計画は、川越固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出している歴史的建造物や川越祭りをはじめとした人々の営みが一体となって作り出している良好な環境（歴史的風致）を守り育て、後世に継承することを目的としています。詳しくは次のページでご紹介します。

【川越市歴史的風致維持向上計画における重点区域】

重点区域は、国指定文化財をはじめ多くの文化財が集積し、かつ、歴史と伝統を反映した人々の活動が展開され、良好な市街地の環境を形成している範囲を設定しています。

歴史的風致の維持向上が効果的に図られるよう、歴史的風致を構成する文化財や活動の維持、発展に寄与する施策を重点的に実施していきます。



「歴史的風致維持向上計画」で維持向上していく川越市の歴史的風致

川越市は、江戸城北の守りとして、代々有力大名が配されてきました。また、新河岸川舟運により物資の集散地として小江戸と呼ばれるほどの繁栄を築き、明治26年(1893)の大火の後に蔵造りの町並みの形成に至りました。さらに、天海僧正ゆかりの喜多院をはじめとし、多くの社寺を中心として独特の門前の賑わいも創出してきました。近代以降も城下町の景観や構成に大きな変化はなく、現代に至っています。この城下町に住まう町方、職方、在方が一体となって行われる川越祭りは、蔵造りの町並みを絢爛豪華な山車が巡行する、町を挙げての一大イベントであります。これらの、ひと、まち、行事が一体となった歴史的風致は、川越の良好な市街地の環境を形成しています。

「物資の集散」にみる歴史的風致

米穀や織物を中心に発展した商業は、県内初の銀行創設に始まり、現代に至る様々な産業と、蔵造りの町並みや洋館など、それぞれの時代を象徴する歴史的建造物とともに商人町の歴史的風致を形成している。



織物市の賑わい



重要文化財大沢家住宅



蔵造りの町並み

「寺社門前の賑わい」にみる歴史的風致

門前界限には、料亭や劇場、さらには、菓子屋横丁など表通りとは異なる歴史的風致を醸しだす。川越のまちの奥行き感、境内の豊富な木々とともに、こうした門前の存在によって成り立っている。



喜多院界限の町並み



菓子屋横丁



喜多院境内



「川越御家中新古屋敷絵図」

「川越祭り」にみる歴史的風致

川越祭りは、城下町川越の総鎮守である川越氷川神社の例大祭を起源とし、江戸「天下祭」の様式や風流を今に伝える貴重な都市型祭礼として、城下町の繁栄を担った川越の人々により360年の時を超えて守られ、川越独特の特色を加えながら発展した。蔵造りの町並みを中心に、絢爛豪華な山車が辻で相対し、すれ違うさまは、見る者を圧倒する。



重要無形民俗文化財 川越氷川祭の山車行事



川越氷川神社境内



川越氷川神社本殿